

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
8 年 第 1 号	8. 5. 2 6	「結城紬」の振興に関する請願 本県を代表する伝統工芸品である結城紬は、「糸つむぎ・緋くくり・地機織り」の3技法が、昭和31年に国の重要無形文化財に指定されるとともに、平成22年にはユネスコ無形文化遺産にも登録された世界的にも価値の高い絹織物である。 2000年とも言われる長い歴史の中で脈々と受け継がれてきた高度な手作業の技術と高い芸術性は、本県の誇るべき文化資産であるとともに、地域を支える産業でもある。 しかしながら近年は、着物を着用する機会の減少や需要の低迷に加え、生産従事者の高齢化や後継者不足、原材料不足などにより、生産量は、年間約53,000反(大正10年)をピークに、昭和55年に約31,000反を生産した以降は年々減産し、現在は約500反と大きく減少しており、結城紬を次世代に継承していくことが重要な課題となっている。 また、結城紬は40数工程もの手作業による高度な技術によって生産されることから付加価値が高く、一方で実際に着用する機会が少ないことから、その魅力を体感する機会が少ないことも課題となっている。 このため、結城紬の魅力を広く発信し、実際に「見る」「着る」「触れる」機会を創出することは、伝統文化の継承と地域産業の振興にとって極めて重要である。特に、観光客や県民が気軽に結城紬を着用できるレンタルや体験の仕組みを整備することは、観光振興と結城紬の需	本場結城紬検査協同組合 理事長 奥澤 武治 外5名	秋 元 勇 人	防災環境 産業	採 択

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
		要創出の双方に資する取組みである。 こうした中、結城市はこれまで、技術習得奨励金などの経済的支援、元横綱稀勢の里（二所ノ関親方）への結城紬大使委嘱、着物で結城の街歩きを楽しむイベント「きもの day 結城」、主要都市での求評宣伝会、市議会議員が結城紬を着用する紬議会、市内中学生全員が結城紬の着心地を体験する授業などを行っている。また、インバウンドを中心とした観光需要を効果的に取り込むため、結城紬の伝統文化体験の充実を図り、それらを核とした魅力的な企画を展開し、国内外に向けて広く発信している。 一方、県においては、後継者育成として、産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所で、約1年間にわたり機織り技術を中心に全工程を学べる研修を平成8年度から実施しているほか、需要開拓やブランド力向上として、茨城県伝統的工芸品産地交流促進協議会による啓発イベントを実施している。 また、令和5年2月に台湾で行われた茨城県主催の「いばらき大見本市」で結城紬の着心地体験を行ったほか、令和5年12月に水戸市で開催されたG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合において、結城紬の着心地体験を行うとともに、各国大臣への記念品として結城紬のショールを贈呈するなどPRに努めている。 さらに、令和4年度から令和6年度には、3年間にわたり「茨城デスティネーションキャンペーン」を実施し、結城市、地域の事業者と一体となって体験コンテンツの創出に取り組み、結城市の魅力を強力にアピールしてきている。 昨年度からは、インバウンドをはじめとした旺盛な観				

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
		光需要を効果的に取り込むため、結城紬の伝統文化体験などを磨き上げ、「珠玉の企画」として国内外に向けた魅力的な旅行商品を造成している。 結城紬事業者としても、茨城県、結城市や組合が一丸となって組織する茨城県本場結城紬振興事業実行委員会が、笠間焼や横山大観をモチーフとした変化に富んだ変り織帯「彩 -irodori-」の制作などに新たに取組むほか、栃木県とも連携した本格的な新作発表会を本年 1 月に東京都内で開催し、よりドレッシーな新しい感性が融合した着物や、江戸時代結城市に滞在した詩人と謝蕪村をイメージした織絵羽など、晴れの日での着用の P R や新たな需要創出を目指している。また、生産者の中でも「糸つむぎ・緋くくり・地機織り」の優れた技術保持者によって結成された本場結城紬技術保持会が、各工程の研修や講習会を実施し、後継者の育成に取り組み、研修で制作した結城紬は、市のイベントなどに活用している。 今後さらに、結城紬の魅力を広く発信し需要を拡大していくことは、産地の活性化のみならず、将来の担い手となる後継者の確保や育成にもつながる重要な課題である。 本年は結城紬が国の重要無形文化財に指定されてから 70 年という節目の年であることから、これを契機として結城紬のさらなる振興と認知向上を図ることが重要である。 このようなことから、茨城県が進める「体験王国いばらき」において、新たな芸術・文化の体験メニューとして、結城紬体験を推進することにより、茨城県の観光振興、経済振興に資する取組みを積極的に進めていただき				

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
		たく、下記事項を請願する。 記 1 芸術・文化の新たな体験として、観光地やイベント、文化事業等において、気軽に結城紬を着用できる体験の機会を創出するなど、結城紬の魅力を広く発信すること。 2 結城紬の販路拡大、新しい商品の開発、県伝統工芸士の認定などを通じて、産地振興及び後継者の確保・育成につながる取組みを推進すること。 3 インバウンド施策を推進する中、日本の芸術・文化の紹介として、結城紬を含めた県内伝統工芸品の活用を推進すること。 4 結城紬が国の重要無形文化財に指定されてから 70 年を迎える本年、関係各位においても、結城紬のさらなる振興と認知向上に取り組むこと。				